

# 平成27年度 奈良県による市町村の地域包括ケア全体構想策定・構成要素充実支援

県は補助金による財政的支援とともに、地域包括ケア推進支援チームによるソフト面での支援を実施

市町村名	全体構想で目指す包括ケアの特徴	構成要素充実に向けた取組
奈良市	退院支援の強化、認知症対策、多職種連携研修会の充実や生活支援コーディネーターを中心とした、「場づくり」「ヒトづくり」「コトづくり」及び「連携づくり」を推進する包括ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン活動の支援 (立ち上げ支援、講師派遣、介護予防・認知症の普及啓発)</li> <li>・在宅医療・介護連携の推進 (多職種連携を目的とした研修会の開催)</li> <li>・高齢者見守り活動の支援 (見守り活動についてのシンポジウムの開催)</li> </ul>
大和高田市	市立病院を有するコンパクトシティ(小面積・中規模人口)の特徴を活かした多職種協働による包括ケア	高齢者の居場所づくりを目的とした「暮らしの保健室」の開設準備
天理市	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイプランノート(社会資源の情報提供、認知症の簡易自己診断ツール等を掲載した冊子)の作成</li> <li>・介護支援ボランティアのポイント制度の導入</li> </ul>
宇陀市	要介護や認知症になっても安心して在宅生活ができ、高齢者がいきいきと交流ができるまちづくりの実現に向け、行政・医療介護の専門職・市民の役割を明確にし、協働して取り組む包括ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した、在宅医療介護連携支援システムの導入</li> <li>・医療介護あんしんセンターに介護保険システム及び保健システムを導入</li> <li>・在宅療養に関係する多職種の検討会及び研修会の開催</li> </ul>
五條市	五條病院周辺地域を医療・介護連携の拠点とし、6つの日常生活圏域の特徴に応じた包括ケア	—
大淀町	官学民に住(住民)を加えた地域ぐるみで構築する包括ケア	—
十津川村	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範囲に高齢者が点在する山間過疎地域における社会資源及び介護ニーズの調査を実施</li> <li>・生活・介護支援サポーター養成講座の開催</li> </ul>